

指定第3号 十勝丸山石灰華群

種別及び名称	種別	記念物（天然記念物）
	名称	十勝丸山石灰華群
指定年月日	平成27年5月28日	
所在地	【非公開】	
指定の理由	<p>十勝丸山石灰華群は、国内では第一級の規模を持つ石灰華群であり、初生的な地形・地質が手つかずのまま保存されている点で国内的に稀なものである。</p> <p>また、石灰華を形成した湧水や沈殿物は多様であり、現在も形成が進行中であること、沈殿物の時間変化が地質的に高精度解析可能な状態で保存されていることは、地質学的にも高い価値を持つと言える。</p> <p>一方、蘚苔類群集に代表されるように、石灰華及び関連する沈殿物を基礎として発達した植生もまた、人間の手加えられことなく保存されており、非常に価値が高いと言える。</p> <p>丸山周辺は、北海道内でも最も手を加えられていない地域の一つであることも考え合わせると、十勝丸山石灰華群は、学術的な見地からも社会教育的見地からも、保護を検討すべき自然遺産であると言える。</p>	
現状	<p>十勝丸山石灰華群は、一部の草本類を除き植生がほぼ完全に失われ、黄白色・赤褐色及び黒灰色の沈殿物が地表を被覆している。</p> <p>また、石灰華内の湧出孔から流出する湧水が流下するワッタカリベツ川の滝では沈殿物が滝表面を覆い、蘚苔類が繁茂している。</p>	
その他参考となる事項		

